

実施計画事業名		情報収集・発信強化事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		建設産業部 サハリン課		課長(主幹)名	佐藤 秀志			
総合計画体系	分野	5	産業振興					
	政策	4	地域資源の再発見・世界への発信					
	施策	3	サハリンとの経済交流を促進します					
	関連施策							
現状と課題	日本国内では最新かつ正確なサハリン情報の入手が困難。同様に稚内情報が未だ十分にサハリンに周知されていない。サハリンと交易を行うためには、ロシア側の法制度が複雑で頻繁に変わるため、中小企業が継続的な経済交流を行うことが難しい。							
目的	友好交流と経済交流を活発化し両地域の発展に寄与するため							
施策展開の	①サハリンプロジェクト他、サハリン情報の収集と稚内情報の発信、 ②サハリン州及び友好都市3市との連絡調整及び友好交流に対する支援、 ③定期航路及び稚内港PRに関する支援、 ④サハリンで活動する稚内企業団体への活動支援							
成果指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	サハリン事務所来訪者		人	目標	500	500	500	
	説明	本市がサハリン州ユジノサハリンスク市に設置する「稚内市サハリン事務所」を訪問した人の数(年間)		実績	582	480		
活動指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	定期航路PR及びポートセールス回数		回	目標	4	4	4	
	説明	市または市が参加する団体等で実施した事業の数		実績	4	5		
	定期航路PR及びポートセールス企業数		社	目標	20	20	20	
	説明	市または市が参加する団体等で訪問した企業の数		実績	14	16		
				目標	-	-	-	
	説明			実績				
				目標	-	-	-	
説明			実績					
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	6,744	9,237	8,081		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	18	0	0		
	一般財源		千円	6,726	9,237	8,081		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.80	1.10	1.10		
人件費(B)		千円	5,433	7,649	7,649			
計(A+B)		千円	12,177	16,886	15,730			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 何事も積極的な行動によりサハリン側の各種団体・行政機関などの人的ネットワークの構築を図りながら、情報収集や稚内側への情報発信に積極的に努めた。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 経済成長が著しく州民の所得水準も伸びている現状、定期航路を活用したサハリンからの観光客誘致のためサハリン州内へ情報発信に努める。
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 事務所は、所長1名と現地通訳1名の2名という最小限の体制の下で、業務に対して積極的に取り組んでおり、サハリン側の行政機関をはじめ各種団体、企業などからも信頼されている。
総合評価	B 見直しの検討が必要 <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> サハリンとの経済交流促進のため、多くのロシア人とのコミュニケーションを図りながら人的ネットワークを構築し、「サハリンの便利屋」的機能を発揮した事務所を目指し、サハリン側と稚内側の相互企業の橋渡しのサポートに取り組む。サハリン側に対し、企業等が本当に求めている情報を提供できるよう、多角的にその手法を検討する。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	b	コスト効率	a
総合評価	B 見直しの検討が必要 <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--